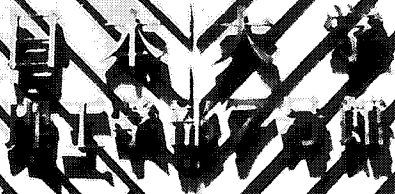


日本大学工科校友会

桜

工



195748



### 若きエンジニア

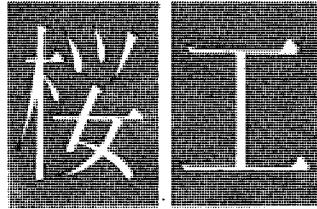
しほかんのひいするくにこそわがそこくそ  
 のなをばにないてそびゆわがはこうのび  
 ゆくにほんのちからはここにちを  
 ひらきゆくものおがきエンジニア

堀内敬三 作詞作曲

- 1 昭渙の日出づる国こそわが祖国  
其の名をば担いて聳ゆわが母校  
伸びゆく日本の力は茲に  
地を拓き行く者若きエンジニア
- 2 青春に夢あり宇宙に真理あり  
現実と理想を結ぶもの我等  
科学の力と不屈の意志を  
武器として進まん若きエンジニア

### 日本大学の目的 および使命

1. 日本大学は、日本精神にもとづき、道統をたつとび、憲章にしたがい、自主創造の気風をやしない、文化の進展をはかり、世界の平和と人類の福祉とに寄与することを目的とする。
2. 日本大学は、広く世界に知識をもとめて、深遠な学術を研究し、心身ともに健全な文化人を育成することを使命とする。



日本大学  
 工科校友会誌  
 1967  
 VoL. 14  
 No. 48

- 新入生諸君に望む／永田菊四郎…………… 5
- 座談会 婦人技術者の夢を語る…………… 6  
 玄地惇子, 小高立都子, 重原りゆ子, 高橋美子, 吉田典子  
 (司会) 山田翠

理科系を選んだ理由／物理科はめぐまれている／体力がモノをいう／その科なりの考え方／単位のための勉強／女性の職場は狭い／物理に対して目が低い／インクの量も計算で／5次元の世界の様子／スケールは大きく／科学の知識を育児に應用

- 通勤輸送力の増強策……………15  
 国鉄が打っているあの手この手／吉江一雄
- 教員免許状取得者種別一覧……………18
- 播磨期の人びと (5)……………23  
 現実と理想を結ぶ建築精神を創った名誉教授笠原敏郎先生／語る人 亀井幸次郎氏

- 部会だより  
 土木・建築 (26) 電気・化学 (27) 薬学・工経 (28)
- 厚生施設案内……………29

- 工科校友会の総会ひらく (31) ■支部だより 大阪校友会総会, 三重県工科校友会総会, 茨城県支部県議長梶山静六君の新任祝賀会 ■会合だより あきとし会総会, 消防庁支部総会, 剛気会第1回の集い ■学友短信 (34)
- 雑記帳 (35) 提供 名取康

- 化学名簿について (25) ■会頭祝辞 (30) ■原稿募集要項

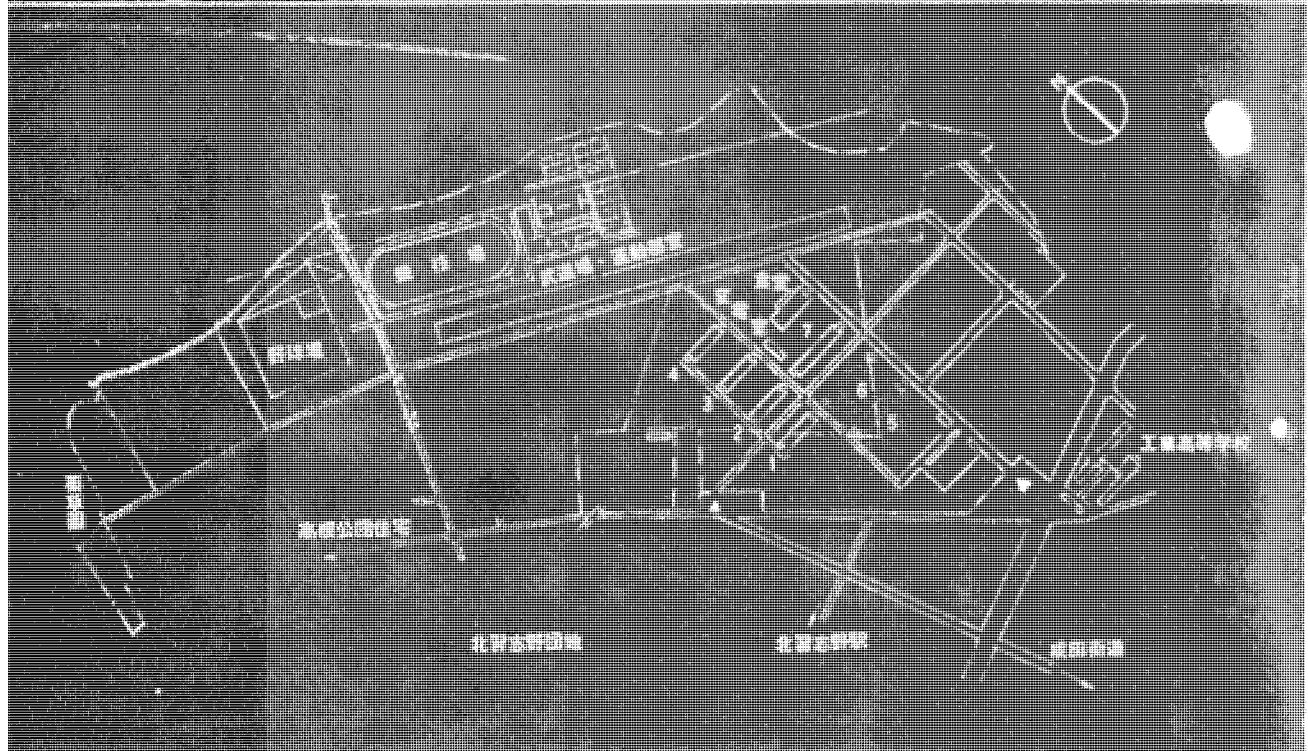
- グラビア 理工系習志野校舎
- 表紙 4月竣工なった7号館

# 理工系習志野校舎



競技場より校舎を望む





## 寄稿歓迎

### 会誌委員会

本誌に校友からの寄稿を歓迎します。本誌は年4回、3、6、9、12月に発行され、校友会費を納入している会員、全国各地支部、学生、その他関係方面へ配布されています。本誌ではとくに地方在住の各科の校友からの寄稿を歓迎します。応募のきまりは次ぎのとおりですから、どしどし寄稿してください。よろしくお願いいたします。

**締切** とくに設けません。発行予定日は各月1日、その1ヵ月前に届いた分は収掲できます。ただし、編集の都合により次回へまわることもあります。**枚数** 200字詰18枚以内。横書き。表や写真はこの中に含みません。**付記** 本誌は校友の親睦、交流を第1の目的にしていますので、学術研究論文は歓迎しません。けれどポピュラーサイエンスは別です。原稿にはあなたの写真を付け、卒業年次（または回数）住所、氏名、勤務先を明瞭に書いてください。掲載分には薄謝を呈します。

原稿の送り先

東京都千代田区神田駿河台1-8  
日本大学工科校友会会誌委員会

■会誌委員／委員長名取康(化学)／土木・下青木秀吉(副委員長)、篠本勝美／建算・安藤三郎、井出好昭／機械・青木顯一郎・両角豊志／電気・篠原博(副委員長)、高橋信夫／化学・大塚喜作、黒沢喜久雄／工経・三浦智徳／薬学・山内盛、戸塚淳逸

■昭和42年7月1日印刷／10日発行

■編集兼発行人／高本政司

■発行／日本大学工科校友会(東京都千代田区神田駿河台1の8／電話東京293-3251内線206／振替・東京162710)

■印刷／本文・鉄鋼新聞社印刷部、グラビア・和喜グラビア